

こんにちは！ 壮瞥町認知症初期集中支援チームです

【認知症初期集中支援チームとは】

複数の専門家が、認知症が疑われる人や認知症の人、及びその家族を訪問し、状況分析や家族への支援など、認知症に関して早急に必要な支援を集中的に（おおむね6か月）、総合的に行い、自立した生活のサポートを行うチームです。

【目的】

認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、「認知症初期集中支援チーム」を配置し、認知症の人やその家族が、早期に医療やサービスにつながるができる支援体制づくりを目的としています。



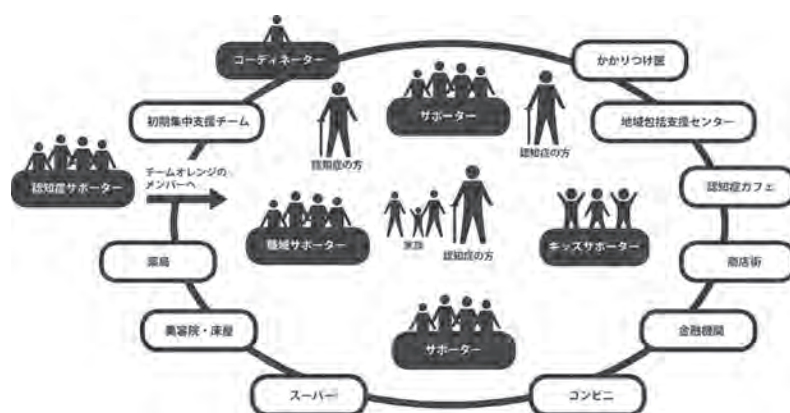
【認知症初期集中支援チームの構成】

職名	所属・氏名
専門医(サポート医)	医療法人社団倭会ミネルバ病院（認知症疾患医療センター） 院長 荻野 秀二
初期集中支援チーム員 『つながりんご』	地域包括支援センター 保健師 澁谷 知子 社会福祉士 中山 夏生 医療法人交雄会 居宅介護支援事業所 管理者 石井 沙哉香 社会福祉法人長日会 第二長日園 主任生活相談員 松本 啓太
認知症地域支援推進員	地域包括支援センター 保健師 澁谷 知子（チーム員と兼務） 保健師 橋本 駿介 社会福祉士 中山 夏生（チーム員と兼務）
事務局	住民福祉課 高齢者福祉係

★「チームオレンジ そうべつ」令和7年度よりスタート！

「チームオレンジ」とは認知症の人が安心して暮らし続けられる地域づくりを具体的に進め、認知症の人や家族と地域の人達をつなぐチーム活動です。

壮瞥町は令和7年度より15人の仲間と活動をスタートしました！



★「喫茶 オレンジ」へ行こう！

認知症になっても出来ること、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることが出来る、そんな「新しい認知症観」の普及・啓発を目的とした場所が

「喫茶オレンジ」です。「喫茶オレンジ」でたくさんの人と交流し、認知症を予防しながら、認知症についての理解を深めていきましょう！



★みんなで語ろう介護のこと！「かたりんご」

介護の悩みや不安は一人で抱え込まずに、誰かに話すことが大切です。「かたりんご」は同じ町内で介護を担っている方々が語り合い、お互いに支え合う場として、介護を受けている人だけではなく、介護をしている人も安心して生活ができる町を目指して活動しています。



今後も「喫茶オレンジ」「かたりんご」を定期的開催していく予定ですので、ぜひご参加ください！